

## 「琉球国独立」か！？(東スポ風味)

あっという間に1月が終わってしまいました。相変わらず寒い毎日が続きます。私の周辺ではインフルエンザが大流行中です。私は予防接種を受けたので大丈夫だ、と思っていたのですが、必ずしもそうではなく、極端に体力が弱ったりした状態では羅漢すると聞きました。おお、怖い。皆様もお気をつけて。

今回のお題は1月に行った沖縄を題材にします。今回は本島のみですが、過去に数回行っていきますので著名どころ(首里城、ひめゆりの塔、美ら水族館等)を回らず、地元のホテルのコンシ



ェルジェがお勧めの所をぐるりとクルマで一周してきました。連休最終日と平日をかけていきましたので比較的普通の沖縄を見ることができたと感じたのです。(連休最終日+平日プランはお得です。信じられないような価格で旅することができました。お勧めです) 城跡(グスク)を中心としたのんびりドライブ。三日間走りましたがいくつか気が付く点がありました。**あ、今回の記事に政治的な意味合いはありません。念のため。**

- ・道路の整備が素晴らしい(右左折レーン、道路の品質)
- ・平日は特にガラガラ(渋滞するのは那覇の中心部だけ)
- ・軽自動車が多い(これは地方に共通する現象ですね) 人口130万人にクルマ80万台!
- ・歩行者が少ない(学校下校時の生徒は見ましたが、およそ歩行者が少ない)
- ・大きく立派な橋がそこそこに(島に渡りましたが、あまり人が住んでいる感じがしない)

まず感じたことは、これは**米軍基地への見返りとしての公共事業**が多いのではないかということ。これについては沖縄大学校長の桜井氏の論文から抜粋します。

<沖縄は、72年5月15日に本土復帰した。以後35年間、政府は沖縄の「自立的発展」と「本土との格差是正」を目標に、9兆円余の振興開発予算を投入した>

<しかし、振興開発で沖縄はむしろ自立から遠ざかり、政府の財政支援への依存を深めた。県の財政依存度は復帰前の23%から40%(03年度)に高まり、完全失業率は復帰時の3%から8%(05年度)へと倍増した。県民所得も復帰時の全国平均の61%から86年の76%へと若干縮まったが、以後は70%前後で推移し、縮まる気配がない>

公共事業漬けの体質が出来上がっていることは間違いないようです。全国の面積の0.6%に過ぎない沖縄に47%の米軍基地があります。確かに基地近くの住民にとっては迷惑な話です。騒音、

物騒なものが詰まった基地がすぐに横にあるのですから。米兵がらみの事件も依然としておさまらない。ちょっと興味を持って沖縄の歴史について二冊の本を読みました。「海の王国 琉球」「沖縄学」。前者は歴史史書、後者はエッセーです。

歴史をたどると現在の沖縄が完全に日本の領土になったのは1879年(明治12年)とわずか134年前のことです。全く知りませんでした。それまでは13世紀から続く「琉球王国」独立国家だったのです。現在の首里城にある「万国津梁の鐘」の碑文を現代語訳します。

**「琉球国は南海の景勝の地にあつて、朝鮮の優れたものを集め、中国とは車輪と軸の関係、日本とは唇と歯のような関係である。琉球は日本と中国の間にあつて湧き出る蓬采の島である。船をもって世界の懸け橋となり、珍しい宝はいたるところに満ち溢れている」**

堂々と琉球は中国でもない、日本でもない独立国家であることが記されています。確かに位置関係を見ると、沖縄が日本の領土であるということはちょっと不自然な位に離れています。距離的



には上海、台北、福岡の真ん中に見えます。

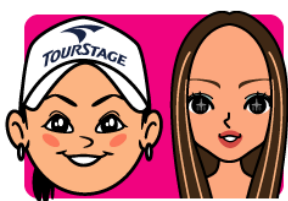
繰り返しますが本

稿に政治的な意図はありませんからね^^。

王朝の政治制度は明・清朝に似通っているといえます。また一時期はその施政を中国に外注しているような時期もあったそうです。「琉球国」としては日本、中国と等距離外交政策を取っていたようです。毎年、明～清朝、足利幕府～江戸幕府に貢物を送っています。ただ、両国は琉球に対して強い思い入れはないようで、積極的に支配下にしようという気持ちはなかったようです。おそらく船を使って交易をするにしても遠すぎるという感覚でしょうか。資源もありません。ところが江戸末期になって薩摩藩が突然実効支配を図ります。おそらくペリーなどの黒船が開国を要求したことが原因になっていると思われます。沖縄は単なる孤島から戦略的な位置にある島になりました。この時、琉球の王族は清朝に亡命しています。清朝としてはこれを材料として日本と全面戦争を仕掛ける口実はあったわけです。しかしそれをしませんでした。そして、日清戦争の結果、琉球は正式に日本の支配下に入ったわけです。この後**日本政府は徹底的な日本化政策を推し進めます**。そして太平洋戦争での悲惨な戦争を通じて米国領となり、1972年に日本に返還されたわけです。なんだかどさくさに紛れて日本にしちゃった感じもします。

なるほど、よくわかりました。これまで私は沖縄は不思議な県だな、と感じていました。方言は全く理解できませんし、宮里藍ちゃんが代表する「濃い顔」^^、男性の濃いひげはむしろ南方系のアジア人の特徴があるように思います。あくまで主観ですよ(笑)。

「沖縄に旅行してきた」というと、大概の方が「いいなあ」と言います。京都とか福岡とか札幌の時の反応が違います。なんだか「ハワイ」のニュアンスに近い。そりゃ、そうです。今回訪れた1月中旬で気温は平均16度、日があれば半袖で過ごせます。海は美しく、ダイバーにとってはあこがれの場所です。気候は亜熱帯でしょう。のんびりした気質、「なんくるないさ」、どこまでも明るい「オバァ」、うまい泡盛。しかしこうしたプラスのイメージは実はそんなに昔にできたわけではありません。返還後、飛行機での行き来が自由になり、テレビ番組等で沖縄がもてはやされてきてからのものです。一時期は沖縄生まれということでの差別さえあったといえます。いずれにしても沖縄は素敵なリゾート地です。ハワイは大好きで十数回行ってはいますが、最近ではむしろ沖縄の訪問頻度が高い。私にとっては日本語が通じる異国情緒あふれる南国リゾートな



スポーツや芸能人に沖縄の人が目立つような気がするの私だけでしょうか

のです。近いし、安いし、安全だし、日本語が通じる。

こんな沖縄ですが、冒頭でもふれたように、経済的には本土とかなりの格差があります。所得は常に最下位、失業率は倍の10%です。観光以外の目ぼしい産業がありません。縦に細長い島の領土は農業にも向かない。年金加入率ダントツの最下位(笑)。これにかわる模合と呼ばれる「無尽」が今でもあるようです。本土では遠くなった一族の意識が今でも生きています。また多産の地としても知られています。子供が多いんですよ、いいことじゃないですか。合計特殊出生率はダントツのトップ(1.9)。貧乏子だくさんという言葉があてはまる^^;

NHKが1996年に実施した「県民性に関する調査」を見ると多くの項目で沖縄の県民性が常に「ビリ」か「トップ」なのです。

「県民としての自覚がある」ダントツのトップ

「土地の人情が好き」ダントツのトップ

「国の政治に関心がある」ダントツのビリ

「県の政治に関心がある」ダントツのトップ

「今の日本はまあ良い社会だ」「天皇を尊敬すべき存在」ダントツのビリ

「宗教を信仰していない」ダントツのトップ

「土地の言葉が好き」「民謡が好き」ダントツのトップ

「この土地の言葉を残すべき」同じくダントツのトップ

長所：人情深い、親切、陽気、穏やか、我慢強い

ま、要するに沖縄が大好きで国への従属意識はない、ってことですね。

何でこんなにも違うんでしょう。

まず、緯度が違う、冬至の場合日の入りは東京は16時32分、那覇は17時43分。

何時をもって夜とするか、という質問、東京が18:00に対して沖縄は20:00。

夏は熱帯の太陽が照りつけ、紫外線量は東京の 10 倍。夏は誰も外でなんか働かない。ただ、湿度が低いせいで陰に入れば意外に涼しい。東京と反対ですね。

アルコール分解酵素を持っている人が 80%、本土は 50%です。お酒に強いはずだ。約束の時間を守らない。22:00 から飲むと決めても全員がそろうのは 23 時。おおらか過ぎ(笑)。断言します。沖縄は、いやさ、琉球は日本じゃありません。立派な「琉球国」です。しかし、今でも本土の防衛のための米軍基地を押し付けられています。しかも解決のめどはゼロ。県外に持っていくのは賛成だけど、うちの県はいや。そんな子供みみたいな意見がまかり通る。

怒りましょう、この際、**独立しちゃいましょう**。政府の補助金がないと立ち行かない？東南海に浮かぶ美しい国、琉球。もちろん日本とも米国とも仲良くしていきます。その代り、基地の使用料はしっかりといただきます。どっちにしても日米にとって琉球は軍事的に絶対に欠かせない場所だからです。ただし基地の土地の半分は琉球へ返還してもらいます。ここにカジノを作りましょう。大型リゾートを作りましょう。スポンサーはラス・ベガスの資本。法人税は日本の半分でいい。秘境・自然・探検は新空港ができた石垣島に任せます。現在日本にある規制を原則全部取っ払います。県庁、市役所を独立行政法人とします。あらゆる公共サービスを民間に開放します。要するに今の日本でできないことを全部やります。子供がたくさんいる国は発展します。官僚支配を抜けられない本土を見捨てましょう。琉球の未来は明るいぞ。

実はこうした州レベルの独立運動は世界的な傾向として増えています。スペインのカタルニア地方。メキシコのバルセロナが州都です。ここは比較的経済的に恵まれており、他の州や国を助けるために自分たちの稼ぎを持っていかれるのが我慢ならない。元々をたどれば違う民族です。スコットランドは 2015 年には英国から独立するかどうかの投票を控えています。英国自身も EU から脱退するための国民投票を 2015 年に計画しています。決して荒唐無稽なことではないのです。



202×年。琉球国はガレッジセールのゴリ **ガレッジセール** **ゴリ**さんを初代大統領として独立しました(笑)、  
というところで夢から目覚めました。南国のやさしい風に吹かれて寝てしまっていたようです。しかし、このままでは沖縄の人が気の毒です。経済的にももっと豊かになるべきです。独立後、私は移民として「琉球国人」となるため転居します。お後がよろしいようで。

お仕事のご発注もお願いします。どんなことでもよいのでご相談ください。m(\_)\_m

株式会社アール・リサーチ 代表 柳本信一

Tel 042-300-0533 mobile 090-7428-8999 mail : [ryubon@kkd.biglobe.ne.jp](mailto:ryubon@kkd.biglobe.ne.jp)

ブログ、ほぼ(笑) 毎日更新しています→<http://r-research.co.jp/blog/>